

令和5年度「地域学校協働本部事業」 地域学校協働活動の取組事例

「コミュニティの拠点となる学校」(福島県富岡町)

取組の概要や経緯

富岡一小・二小、富岡一中・二中が小学校1校・中学校1校にそれぞれ統合し、「小中併設型・小中連携校 富岡小学校 富岡中学校」となったの2年目。「コミュニティの拠点となる学校」を目指して、地域と学校が積極的に関わる活動に取り組んできた。



内容

- 学校がコミュニティの拠点となる活動
 - ・地域学校協働活動推進員による講座等「サマースクール」「町防災無線の録音支援」
 - ・余裕教室における公民館事業的な講座「エコクラフト」「織物」「音読教室」
- 地域と学校による連携協働
 - ・推進員を中心とした学校行事等の支援「教職員研修のワークショップ」「授業参観親子クラフト教室」
 - ・地域住民による家庭科や総合の授業での学習ボランティア及び地域スポーツクラブによる専門性を活かした体育における授業支援

ポイント

- 学校からの要望等について、統括コーディネーターや推進員がパイプ役となり、地域の方々に協力を依頼し、学校を支援する。
- 統括コーディネーターと推進員とが定期的に情報共有をし、より良い活動となるよう意見交換を実施。

成果

- 地域と関わる活動を小学校60回以上、中学校40回以上と、非常に多く実施することができ、アンケートでも児童生徒の8割が活動に対して好意的な回答をした。
- 地域学校協働活動についての意見交換を、コーディネーターと推進員によるものを4回、さらに教職員を交えて4回実施し、より良い地域学校協働活動の在り方や進め方の理解を深めることができてきた。

今後の方向性

- まずは地域と学校の関係性をさらに良くするために、対話の時間をしっかりと確保し、相互理解を深める活動を充実させる。
- 学校からの要望に協力するだけでなく、地域側から児童生徒に向けた活動を提案し、学校や教職員の負担にならないような形で実施する。
- 地域の方々が訪れやすく、児童生徒と日常的に触れ合えるような学校の環境整備を図る。